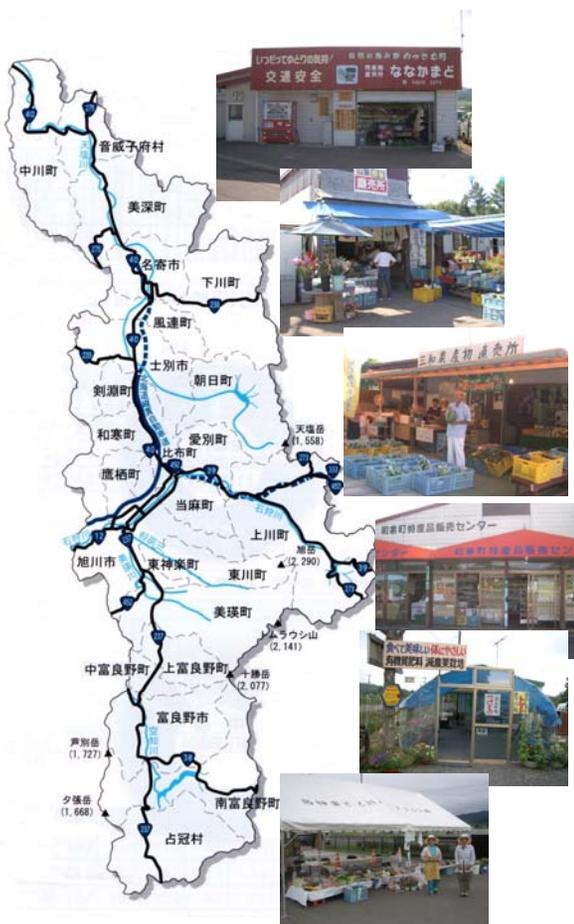


テーマ1 国民に健康な食を提供—信頼できる北の大地から—

①農産物直売所マップづくり～全道各地の農家庭先ショップを紹介します

【背景】農家の直売所で手に入る新鮮で安価な農産物や手作り食品が好評

【ねらい】消費者へ新鮮で美味しい農産物の情報提供と、創意工夫を活かした農家の取り組みなどの地域活性化を支援



展開内容

- 農家が生産した農産物等を庭先等で販売する「直売所」は、新鮮で美味しい農産物を直接消費者に提供するとともに、地産地消の推進にも役立つことが期待されます。
- 旭川開発建設部は、
 - ① 地域の農家や市町村の方々と連携しながら「直売所マップ」を作成し、「美味しい農産物」の情報を皆さんに分かりやすく伝えます。
 - ② 「直売所マップ」は、道の駅や市町村窓口等での配布を行い、地域農家の創意工夫を活かした取り組みを支援します。
- 平成19年度は、上川管内の「直売所マップ」を更新、さらに10月には上川管内の「ジュースマップ」を作成しました。

テーマ1 国民に健康な食を提供－信頼できる北の大地から－

②地域の各種イベントを活用して農業・農村の大切さをPR

【背景】食育基本法の施行や生活習慣病の増加現象、環境保全への世論の高まり
【ねらい】地域に向けて、食育及び地産地消の推進を提唱、啓発を促す

おむすび講座

講師による講演



おむすびの体験講座



おいしく体験！WinterSession

講師による講演



地場産食材を使用したホットケーキ作り



それぞれ同時開催したパネル展



展開内容

- 食育基本法が制定され、「食育」を国民運動として推進することとされています。
- 旭川開発建設部は、
 - ① 地域の農家や市町村、関係機関と連携しながら、食育・地産地消の講演会の開催を行っています。
 - ② 「農業農村整備事業パネル展」を開催し、環境との調和に配慮した地域農業や事業をPRしています。
- 平成19年6月24日(日)に、北海道農政事務所、上川保健福祉事務所、地元農家の女性組織等と協働して食育・地産地消の講演会及び農業農村整備事業パネル展を開催しました。

テーマ1 国民に健康な食を提供ー信頼できる北の大地からー

③農山漁村の生きもの調査～安全な食べ物は生きものが賑わう環境から～

【背景】食べ物の生産現場から発信される「安全・安心情報」への関心の高まり

【ねらい】生産現場の自然環境等の調査結果を、安全な食べ物が生産される農村のPRに活用

豊かな自然環境のもとで美味しい農産物が生産されています



地域の子供達による田んぼの生き物調査



用水路の生き物調査



展開内容

○北海道内の農山漁村は、豊かな自然環境のなかで「美味しく安全な」食べ物を生産しています。

○旭川開発建設部は、

①地域の子供たちと協働して、河川や農地、用水路の生きもの調査を行っています。

②これらの調査結果を地域に提供し、そのデータを「多様な生きものの棲む環境で生産された農産物」のPRに役立てています。

③また、調査結果は、消費者の皆さんが「食べ物の故郷」の環境を確認できるようホームページ等に掲載しました。

○平成19年7月25日に、富良野土地改良区、中富良野町立旭中小学校の児童・PTA、旭中地域環境保全組合、地域住民と協働して田んぼの生きもの調査を空知川右岸地区で実施しました。

テーマ1 国民に健康な食を提供－信頼できる北の大地から－

④農業の担い手を育成する教育支援パートナーシップ

【背景】活力ある地域づくりに、農業の担い手達の活躍が期待されている

【ねらい】3年間に渡って、農業教育の支援を行い、将来富良野地域で活躍する担い手を育成

農業教育支援活動のイメージ



『富良野緑峰高等学校』

農業関係として、園芸学科と、農業の担い手が通う農業特別専攻科をもつ。



田んぼの生き物調査



講演

これまでの取り組み

○平成19年1月18日

農業の担い手が学んでいる農業特別専攻科を対象とした講演『富良野地域の農業農村整備について』を実施。

展開内容

『富良野緑峰高等学校との教育支援パートナーシップ』

1. 期間

平成19年度～平成21年度

2. 対象

園芸学科 30～40人／学年

農業特別専攻科 20人／学年

3. 内容

① 講座

② 農業施設の見学会

③ 田んぼの生き物調査

④ 研究フィールドの提供等